あぜみち

www.ja-shinshinotsu.or.jp/

今月号の主な内容

■ニュース＆トピックス
- 報徳特別賞受賞式
- 組合員ニーズに合ったプランを提案

■今月の技術情報
- 出穂以降の水管理

■インフォメーション
- 第 6 回理事会

【写真】**麦刈り開始！**

村内では7月14日から秋小麦の収穫作業が始まった。

＝関連記事　3面

8
JA新しのつ
令和5年8月号
vol. 757

西井通泰氏報徳特別賞受賞

地域農業発展の貢献を讃えられて

北海道報徳社では6月20日に北海道報徳名誉賞・特別賞の授賞式が行われ、新篠津報徳会推薦の西井通泰氏が受賞した。同賞の受賞は、北海道で10人目、新篠津村からは初の受賞となった。

報徳特別賞とは、職業愛・郷土愛の心篤く、自立自助の意欲旺盛な農漁業者であって、かつ互助協同の精神に基づく積極的行動により地域農漁業の振興、協同組織の発展に寄与し、報徳思想の普及・啓発に務め報徳組織の育成・運営に寄与した者を表彰する。

西井氏は昭和52年に4代目として経営を継承し、米政策の変革期を乗り越えるため作物の導入や基盤整理等に力を堅実に実践し経営規模拡大を実現。地域活動として地域青年団に加入し、15年間の在籍中に日本青年団協議会会長を務めた他、村代表監査委員や北海道監査委員として地方自治行政に貢献された。農協役員としては、平成12年より7期21年間務め、その間には代表理事組合長として地域農業を牽引した。

新篠津報徳会では平成18年に理事に就任し、平成24年には副会長、また平成25年から令和2年まで会長を務められ、人材育成として各種研修会への参加はもとより、報徳精神の普及に尽力され、協同組合運動の推進に貢献したことなどから今回の受賞に至った。

協同組合運動の推進に大きく貢献

地域農業への貢献を期待

新規就農者激励状伝達式

JAでは6月27日、JA2階大会議室で令和5年度新規就農者激励状伝達式を開催。昨年からこれまでに就農した新卒者やUターンなどをされた方にJAグループ北海道からの激励状を伝達し、JAと新篠津村より記念品が贈呈された。

長屋組合長は「農業は一人の百歩より百人の一歩が大切であり、これから長い農業人生の中で、様々な困難にも挫けずに頑張るためにも、農家同士での情報共有が大切である。苦しいときには成長するための見えない坂道を上っていると考えて頑張ってください」と激励。

励ましの言葉と激励状を受け取った新規就農者は、JA役職員に見守られる中、新たな門出に胸を張っていた。

なお、今年度の新規就農者は次のとおり

大塚　悠生（中原）
加川　正悟（西高倉）
長屋　嬉樹（拓新）

地域農業への貢献に期待

順調なスタートを切る

小麦収穫作業始まる

次々と収穫作業が進む

村内では7月14日から、秋まき小麦の刈り取り収穫作業が始まった。

17日から収穫作業を開始したのは、北新農事組合の高田美樹さん。高田さんは、収穫作業を進め「今年は順調に生育が進み、昨年よりも3日程早い収穫時期となった。病気も少なく、順調に生育が進んだので収量に期待したい」と話してくれた。

また、7月13日にはJA2階大会議室で令和5年度麦調製貯蔵出荷施設運営協議会を開催。受入体制や精算方法について協議を行い、一日の受入重量は350㌧に設定し、時差出荷による効率的な集荷を行うことで、取扱量7、500㌧を見込んでいる。

組合員ニーズに合ったプランを提案

長期共済一斉推進

保証内容を提案

JAでは7月4日から7月7日までの4日間で、長期共済一斉推進を実施。組合員全戸を訪問した。

この取組みは、多様化するニーズに応じ保障内容の充実を図ることを目的に毎年行われている。

役職員をはじめ共済連札幌支所職員の協力のもと4班体制で実施。

推進では、満足度の向上と保障拡充を目指し、医療保障の見直しや建物更生共済を中心に推進。組合員目線に立ったプランを提案することで、目標を達成する推進実績となった。

今後も引き続き全役職員、共済担当者が一丸となって協同の精神を貫きフォロー推進・広域推進を行っていく。

ＪＡ共済一斉推進にかかるお礼について

組合員の皆さまにおかれましては、毎日の農作業に大変お忙しいことと存じます。

日頃よりＪＡ共済事業に対し特段のご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

７月４日から７月７日までの４日間にわたる共済一斉推進の際には、大変お忙しい中お時間を割いて頂き、誠にありがとうございました。

併せて、共済のご契約をいただきました皆さまに対しましても、この場をお借りしてお礼申し上げます。

今後ともＪＡ共済事業のご利用をよろしくお願い申し上げますとともに、農作業中の事故・けが等には十分注意され、豊穣の出来秋を迎えられますことを心よりお祈り致します。

ＪＡ役職員一同

信頼されるＪＡを目指し

職員一斉研修

良い職場づくりへ

ＪＡ新しのつでは7月12日、ＪＡ2階大会議室で職員一斉研修を開催。不祥事未然防止に努め、活力ある職場づくりに繋げようと、ＪＡ職員70名が参加した。

講師にはＪＡ北海道中央会札幌支所太田湧一朗氏を迎え「コンプライアンスと個人情報漏えい防止」について学んだ。

研修では、個人情報漏えい等が起きてしまう理由や防止方法について説明を受けた後、日常業務において、丁寧かつ堅実な対応を積み重ね、役職員一人一人が自ら考え、お互いを気づき合える職場を作り上げることの重要性を学んだ。

研修の最後に太田氏は「一人一人がＪＡ新しのつという看板を背負い、活力ある職場環境を目指しましょう」と参加者に呼びかけた。

農産物の生育状況を把握

JA役員作況視察

水稲圃場を視察する役員ら

ＪＡでは7月21日、役員作況視察を実施し、村内の農産物の生育状況を確認した。

役員作況視察では、長屋組合長をはじめ農協役員12名が参加した。

視察にあたり、生産資材課の宗像政美主任技師が今年の作況や気象推移について説明。

今回の視察では、水稲の新品種である空育195の生育状況や農協試験圃で試験を行っている作物の生育状況の他に高収益作物など村内9箇所を視察した。

快晴のなか農作業を体験

グリーンツーリズムしんしのつ

貴重な体験を楽しむ

「グリーンツーリズムしんしのつ」（米林正志会長）ではコロナ禍により3年間縮小していた食農教育事業を6月13日から7月5日にわたって実施。大阪・京都の5校の高校生90名を延べ23戸の農家の方がファームステイで受け入れた。

出会いの集いで米林会長は「新篠津村は純農村です。農作業を通じ自然、文化、農業者との交流を楽しんでください」と生徒達を歓迎。生徒代表も「のどかな景色の中、農作業という貴重な体験をさせていただけるので、精一杯楽しみたいです」と挨拶した。

その後、生徒達はそれぞれファームステイ受入農家のもと、普段経験できない、野菜や花卉の定植・収穫作業を時間の許すかぎり満喫した。

参加した生徒からは「受けいれてくださった農家さんがとても親切であっという間の2日間でした。ずっとこの村にいたいと思いました」「土に触れること自体が貴重な経験で、野菜を育てることの難しさや楽しさがわかり、とても勉強になりました」などと感想を話し、農業の大変さや大切さを感じた様子だった。

また9月13日から10月25日までの期間に約60名の生徒の受入れを予定している。

EM団子で水質改善狙う

EM研究会

更なる効果へ期待

EM研究会（岡崎繁章会長）では6月29日、村の貴重な観光資源である「しのつ湖」の水質改善を図ることを目的にEM団子を作り、後日「しのつ湖」へ投入した。

EM菌はEffective Microorganisms（共存共栄する有用な微生物の集まり）の意味を表す通称で、農業、畜産、水産のほか、環境浄化や土木建築など様々な分野に利用されている。川や湖に投入することで、乳酸菌や酵母菌などの微生物が増殖し、ヘドロや汚濁物を分解。水質が改善したという事例も報告されている。

EM団子作りには、岡崎会長をはじめ、会員ら約8名が参加。EMぼかしとEM活性液を混ぜ込んだ泥を投げ込みやすい大きさに握り約300個の泥団子を作り上げた。団子は白い菌糸に覆われるまで保管し、7月10日には、岡崎会長をはじめ、JAの長屋組合長、EM研究会の会員などの関係者が、EM資材を混ぜ込んだ泥団子約300個を「しのつ湖」に投げ入れた。

「ちゃぐりん」8月号を寄贈

新篠津小学校3年生へ

ちゃぐりんを受け取った児童ら

JAでは7月12日、新篠津小学校の3年生20名にJAが食農教育を進める子供雑誌「ちゃぐりん」8月号を贈った。

この取り組みは、食農教育を深める教材の一つとして、夏休み前に毎年寄贈している。

当日は、吉田直生営農企画課長が「夏休み中の自由研究などに活用し、農業についてたくさん勉強してください」と3年生代表の生徒3名に手渡した。

「ちゃぐりん」を手にした子供たちは「ありがとうございます。勉強します」と笑顔で受け取っていた。

健康増進を図り、親睦深める

年金友の会

優勝を飾った白木さん

JA年金友の会（高橋勇会長）では7月19日、会員相互の健康増進と親睦を図るため第25回親睦パークゴルフ大会を開催した。

ふれあい農園パークゴルフ場で行われたパークゴルフ大会には、腕自慢の会員ら49名が出場。15組に分かれそれぞれ3コースを回り、男女別でスコアを競い合った。

パークゴルフ終了後には、JA2階大会議室で第37回定期総会を開催。会員97名が出席し、令和4年度事業報告や令和5年度会費の徴収、役員改選など全4議案が審議され、全議案が承認された。

【第25回パークゴルフ大会】

●男性の部

優　勝：白木　誠治
準優勝：永森　勇
第3位：今田　征夫

●女性の部

優　勝：田中　美智子
準優勝：本島　律子
第3位：中井　美知子

農業改良普及センター

今月の技術情報

2023.8.1

石狩農業改良普及センター石狩北部支所
TEL.(0133)23-2146　FAX.23-2887

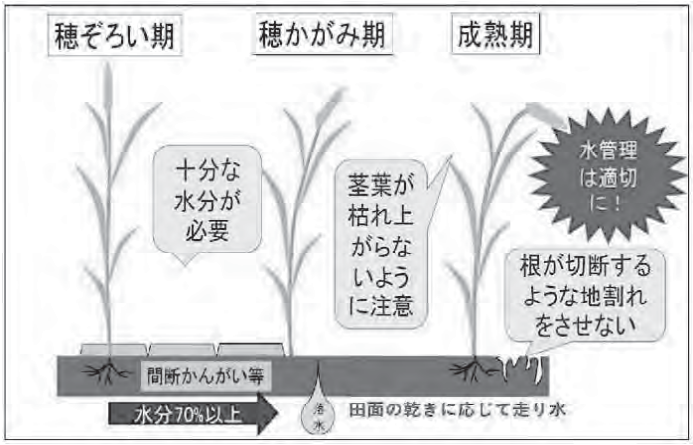
【水　稲】

今年のイネの茎数・穂数は平年よりも多い傾向にあり、総籾数が多くなることが予想されます。今後の管理では、デンプン転流を促進し、一粒一粒を太らせることを目標に、収穫間近まで土壌水分を維持することが重要です。

イネの水分不足に注意！

イネは開花から穂かがみ期（出穂後25日頃）にかけて、急速に成長します。そのため、入水と自然落水を繰り返す「間断かんがい」で土壌水分を維持し、落水は穂かがみ期以降に行いましょう。

落水後、田面に１cm以上の大きなヒビが入ると、断根により千粒重の低下や腹白粒・乳白粒の増加を招きます。歩いた時に土壌表面にわずかに足跡がつく程度を目安に、田面の乾きに応じて走り水を行いましょう。



胴割粒に注意

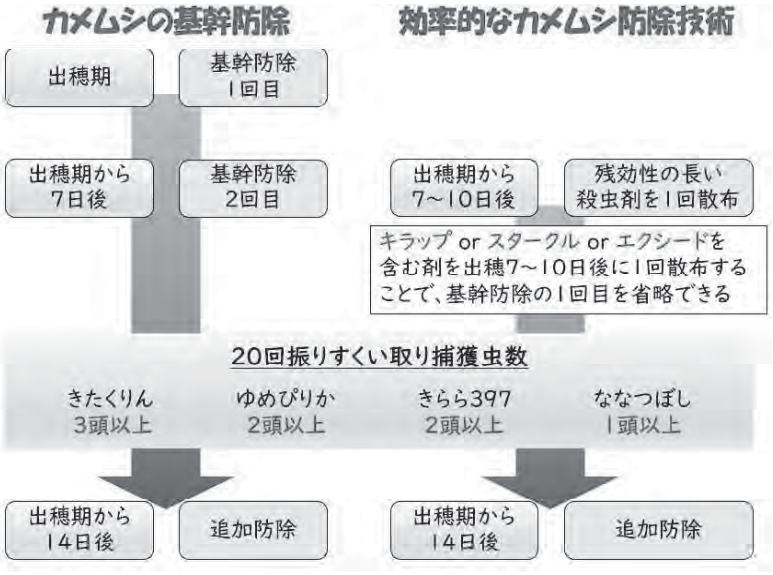
気象庁の１カ月予報（７月15日～８月14日）では、平年よりも気温が高くなる見込みです。登熟期間を高温で経過した場合、令和３年のように胴割粒が多発し品質が低下する恐れがあります。

出穂後20日以内で、日中の気温が29℃以上、夜間も23℃以上になる日が５日以上続くと予測される場合は、夜間にかんがい水の掛け流しを行い、地温や稲体周辺の気温を下げる対策を講じましょう。

カメムシ防除

カメムシの基幹防除は、出穂期と出穂期から７日後の２回実施します。

追加防除が必要とされる期間は、出穂期から約30日間であることから、「カメムシ予察情報」を必ず確認し、発生状況と品種に応じた防除を行いましょう。



農薬散布は、風向きや周辺の作物に配慮して行いましょう！

【秋まき小麦】

土壌病害や雑草害の発生・拡大防止

小麦の連作により、雑草害や土壌病害が拡大する恐れがありますので、田畑輪換を取り入れた４年以上の輪作を実施しましょう。

また、収穫後の緑肥導入や排水改善の実施、小麦作付け前からの雑草処理など、実態に合った適正な対策を実施しましょう。

(1) 体系処理で雑草対策

スズメノカタビラ、ナタネタビラコなど多様な雑草が増加しています。やむをえず連作する場合は、①小麦収穫後、②耕起前処理、③播種後土壌処理、④出芽後生育期処理、⑤越冬後雑草処理などを組み合わせた体系処理を実施しましょう（図１）。

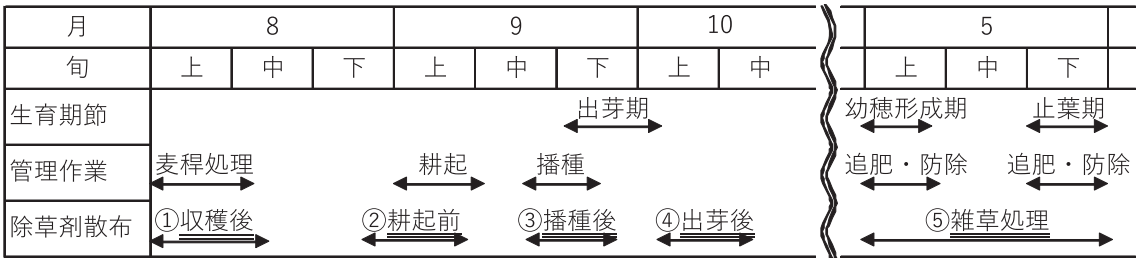


図１　除草剤体系処理例（薬剤選定は防除ガイド参照）

(2) 土壌物理性及び化学性の改善

透排水性の不良ほ場では、耕起前に心土破砕、無材暗きょなどの施工を実施しましょう。

土壌分析の実施により、土壌ｐＨは５.５～６.０を目標に石灰資材を施用しましょう。

【大　豆】

病害虫防除

大豆の生育は平年並に進んでいます。莢の肥大・成熟など生育に合わせた病害虫防除を実施しましょう。

(1) マメシンクイガ

年１回の発生で、７月末から８月上旬に羽化し、大豆に飛来産卵します。孵化した幼虫は、未熟な莢の内部に侵入し、子実を食害します。

＜マメシンクイガの防除対策＞（薬剤選定は防除ガイド参照）

・第１回目の防除
　成虫及び莢伸長始（莢長２～３cm）の両方が確認されてから６日後。
・第２回目の防除
　第１回目防除から10日後。

（２）腐敗粒（かび粒）

莢の成熟と高温・多湿条件が重なると、腐敗粒（かび粒）が多発します。その他、莢伸長期の強風による莢の傷や粒肥大による裂莢、カメムシの穿孔等により莢内にカビが侵入・繁殖しやすい条件が重なると発生を助長します。

＜腐敗粒（かび粒）の防除対策＞

・カメムシ等の害虫防除（マメシンクイガ防除終了後）に実施する。
・８月下旬～９月上旬に殺菌剤で防除を実施する。
・成熟が進んだほ場は、適期に速やかに収穫する。

CARRY
キャリイ

JA特別パッケージ

危険を予測し安全運転をサポートする SUZUKI Safety Support

デュアルカメラブレーキサポート

SUPER CARRY

お支払い総額	安全装備も充実でお手頃価格! KCスペシャル KKCU-L6 4WD 5MT	こちらの価格にプラス 20,000円(税込)で!
	110.0万円 (注1)	シガーライター / アングルポストプロテクター / スプリングセット(リーフ増)
	車両本体価格 1,035,590円、登録諸費用 64,410円	の3点を追加可能!

●お支払総額は、国内登録の場合に限ります。●ご要望に基づくオプション等の費用は別途申し受けます。
●掲載内容は2023年4月現在のものです。価格、仕様等は予告なく変更する場合がございます。●安全技術に係る詳細はスズキ(株)のメーカーホームページをご参照ください。
(注1)掲載の価格は、(株)ホクレン油機サービスの価格です。各地区のJA販売店の価格は、お近くのJAにお問い合わせ願います。

EVERY
エブリイ

JA特別パッケージ

危険を予測し安全運転をサポートする SUZUKI Safety Support

デュアルカメラブレーキサポート

お支払い総額	PAリミテッド EVAS-LJ5 4WD 4AT	PC EVBS-J5 4WD 4AT
	133.3万円 (注1)	143.8万円 (注1)
	車両本体価格 1,279,800円、登録諸費用 53,200円	車両本体価格 1,384,100円、登録諸費用 53,900円

●お支払総額は、国内登録の場合に限ります。●ご要望に基づくオプション等の費用は別途申し受けます。
●掲載内容は2023年4月現在のものです。価格、仕様等は予告なく変更する場合がございます。●安全技術に係る詳細はスズキ(株)のメーカーホームページをご参照ください。
(注1)掲載の価格は、(株)ホクレン油機サービスの価格です。各地区のJA販売店の価格は、お近くのJAにお問い合わせ願います。

ホクレン JA SUZUKI

JA新しのつ

第44回新しのつ青空まつり「あぐりふぇすた」

SUN & GREEN しんしのつ

日　時　令和5年8月26日（土）10:00～13:00

場　所　新篠津村自治センター南側芝生コーナー

①今年も青空まつりと同一会場で実施します
②子どもから大人まで楽しめるゲームを用意 ！！
③飲食券にはもれなく「ラッキー賞」が付いてます！
④賞品多数！お楽しみ抽選会も！！
⑤増毛漁協青年部、ＪＡ青年部、ＪＡ女性部の物販も！

村民・地域住民皆様のご参加をお待ちしております

お楽しみ抽選券付き飲食券

味付けラム肉・野菜セット・ゆめぴりか・ラッキー賞

◎飲食チケット　２，０００円（前売・当日券共通）
※当日券の販売枚数には限りがあります

前売券販売窓口　ＪＡ新しのつ　直販課
（TEL 0126-35-7108）

お車でご来場の場合、セブンイレブン南側のバリアフリー広場を臨時駐車場としてご利用願います

※　雨天等によりやむを得ず中止の場合は、飲食券に表示している飲食物を会場にて交換とさせていただきますので、あらかじめご了承願います
【引換　令和５年８月２６日（土）午前10時～午後1時】

令和5年度 第5回 理事会

令和5年6月27日㈫

報告事項

① 農協財務状況報告（5月末）
② 職員一斉研修の実施について
③ 辞令交付について
④ 組合員の加入について
⑤ 組合員の脱退について
⑥ 理事に対する資金の貸付実行について
⑦ マネロンガイドラインとのギャップ分析結果について
⑧ 顧客属性照会システム（CCS）定期確認の実施結果について
⑨「JAバンクの内部管理態勢構築に係る指針」について
⑩ 保管業務状況について
⑪ 令和５年度　野菜・花卉の出荷状況について
⑫ 令和５年度　米出荷予約状況について
⑬ 令和５年度　水稲・小麦・大豆・雑豆作付状況について
⑭ 令和５年度　米出荷契約金の支払いについて
⑮ 各部専門委員会の開催結果について
⑯ 常勤役員の動静について

付議事項

① 理事に対する資金の貸付について
② 組合員の出資持ち分譲渡について
③ 新しのつ青空まつり「あぐりふぇすた」の開催について
④ 令和４年産共計玉葱の精算について
⑤ 固定資産取得に係る工事指定業者の選定について
⑥ 固定資産の取得について

協議事項

① 第１回地区専任制巡回意見要望に対する回答について

※上記の事項について報告、協議、承認されました。

令和5年度 第6回 理事会

令和5年7月21日㈮

報告事項

① 農協財務状況報告（6月末）について
② 上半期購買品等棚卸しの実施について
③ お盆休業について
④ 組合員の加入について
⑤ 内部監査室監査の実施結果について
⑥ 令和５年度長期共済一斉推進実績について
⑦ 理事に対する資金の貸付実行について
⑧ 令和４年度経営分析結果について
⑨ 保管業務状況について
⑩ 令和５年度野菜・花卉の出荷状況について
⑪ 令和５年度麦調製貯蔵出荷施設運営協議会の開催結果について
⑫ 常勤役員の動静について

付議事項

① 第１・四半期自治監査の実施結果について
② 特定組合員の営農計画変更について
③ 野菜価格安定基金実施要領の一部改正について
④ 令和５年産小麦取扱方針の決定について
⑤ 理事との業務委託について
⑥ 負担金の支出について
⑦ 固定資産の取得並びに処分について

※上記の事項について報告、協議、承認されました。

お盆休業のお知らせ

お盆休みに伴い、下記のとおり業務を休業いたします。

休業日

記

令和５年8月15日㈫

※給油所・ATMは通常通り営業します。

お問合せ先：JA管理経理課（57-2311）

お客様各位

ホクレンショップ 新しのつ店からのお知らせ

8月13日（日）は通常営業致します。
それ以外の日曜日はお休みさせて頂きます。
何卒ご了承くださいませ。

ホクレンショップ新しのつ店

家の光図書

～ 2023年6月の新刊 ～

※貸し出しを行っていますので、詳しくは、営農企画課までご連絡下さい。

【定価は全て税別】

なぜ、その米は売れるのか？進化する原宿の米屋のマーケティング術
小池 理雄 著　四六判・240頁
定価：1,600円

山下惣一　百姓の遺言
山下 惣一 著　A5判・336頁
定価：2,000円

70歳からのかる～い1分筋トレ&ストレッチ
山口 晃一 著　A5判・80頁
定価：1,400円

我が家のHERO（ヒーロー）

みずほ

水　島　花奈子

父：孝　　母：雅代
趣味：読書、模写

私の我が家のヒーローは，お父さんと妹の莉菜子です。
お父さんは，いつも夜おそくまで仕事をしているのに
土日は，色々な所につれていってくれたり，勉強を教えて
くれます。
妹の莉菜子は，いつも，元気いっぱいで，保育所で
あった事などをたくさん話をしてくれて，家族みんなを
和ませてくれます。

こんにちは赤ちゃん

西の里 **高　橋　りりい** ちゃん

令和４年９月４日生まれ　享平・沙智さんの次女

ママからのメッセージ

１歳の誕生日おめでとう！
いつも可愛い笑顔や行動に家族みんなメロメロです♡
お姉ちゃんとお兄ちゃんが大好きで、ついて回っていつも危なっかしいけど、これからの成長が楽しみです♪スクスク大きくなってね!!

みんなの伝言板

はやし　み　こ
（萌出／５歳）
くまきちが虹をみているところをかきました。

篠　原　朝　陽
（ふらわ／５歳）
モンスターをかきました。

白　石　麻　衣
（みのり／６歳）
シールにある、すいこみカービィをかきました。

上　田　かける
（ふらわ／７歳）
だいすきな虫をかきました。

上　田　瑠　杏
（ふらわ／８歳）
スプラ３のイカちゃんを書きました。

白　石　智　華
（みのり／９歳）
私が考えて決まったシンボルマークを、もう１度書きました。（新篠津小学校 2023 年第 46 回）

馬　渕　乃　愛
（中原／10 歳）
8月といえば海なので、海にいる生き物と貝などをかきました!

小　柳　明　子
（ふらわ／48 歳）
寝巻きの女の子を描きました。熱中症にまけずに、がんばりましょう!

なゝかまど文芸

カーテンを手繰れば初夏の陽の明かし　三浦芳女
日盛りを牛歩の如く吾歩む　水島キミ
畦歩き青田見回る鴉かな　志賀勝
田も畑も生気満ちてる喜雨の中　波多野和歌
紋白蝶夕暮れ低く音もなく　永森勇
日盛りや放射線科に列をなす　田中美智子
滝道を歩いてかぶる水しぶき　佐藤千佳
星たちの瞬き冴えて秋近し　石若ひとみ

俳句・川柳サロン

夕凪やビール片手に涼む夜　ちか
兄眠る護国やしろの楡神木（樹齢四百年）　いさむ
万緑や五臓六腑も染まりそう　わか
各地から集う強者（つわもの）夏帽子　みちこ

編　集　後　記

７月も下旬に入り本格的に気温が上昇してきているのを感じられるようになりました。全国的に気温の上昇に比例して熱中症による病院への救急搬送が増えてきているそうです。

８月に入り麦の収穫も一段落した頃と思いますが、これからの気温の上昇に注意し熱中症の対策や農作業事故に気をつけて８月も乗り切りましょう。

農林水産大臣賞を受賞

７月 20 日に行われた北海道花き品評会にて中篠津農事組合の窪田隆浩さんのユリが最高位である「農林水産大臣賞」に見事輝いた。

表彰式は 11 月を予定している。

【あて先とお問い合わせ先】
〒068-1193　石狩郡新篠津村第47線北13番地
JA新しのつ 営農部営農企画課
TEL 0126-57-2311
E-mail:takahashisei@shinshinotsu.ja-hokkaido.gr.jp
※JA金融店舗ATMとホクレンショップに応募箱があります。

■発行／新篠津村農業協同組合　■編集／営農部営農企画課
■住所／〒068-1193 石狩郡新篠津村第47線北13番地
■電話／0126(57)2311(代表)
■ホームページ／http://www.ja-shinshinotsu.or.jp/
■印刷／弘文社印刷㈱　岩見沢市5条東11丁目
この『あぜみち』は環境にやさしい道産間伐材配合紙を使用してます。